



水田台帳を利用した地域機関の取組みについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネットふくい、
地域機関(2協議会、市、農業委員会)

取組概要

内容：水田台帳を、水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆・区画と結合して地図化。農業再生協議会、水稻防除協議会、市、農業委員会が同じ地図情報を利用して、それぞれが必要とする主題図を出力し、業務に活用。

経緯：①各機関は水田台帳の情報を反映した地図の作成を、その都度手作業により行っていたため、多大な労力と時間を要していた。

②水土里情報利活用促進事業により農地筆・区画、航空写真が整備されたことから、担い手育成総合支援協議会(現在：農業再生協議会)に対し水田台帳の地図化を提案。突合を実施。

③地図化された水田台帳を利用して、各機関は以下の主題図を作成。

1. 農業再生協議会は「水田転作の確認図」※1
2. 水稻防除協議会は「水稻防除の実施位置図」※2
3. 市は「人・農地プランの農地利用図」※1
4. 農業委員会は「農地の利用状況調査位置図」

※1. 図面作成を土連が受託。※2. 業務支援プログラムを土連が作成。

水田防除出力支援メニュー

- 総目録を呼び込みます。
- 明細書の更新を確認します。
- 作物名の定義を行います。
- 水田筆の選択を行います。
- 地図があるか確認します。

水田筆選択(総目録形式)

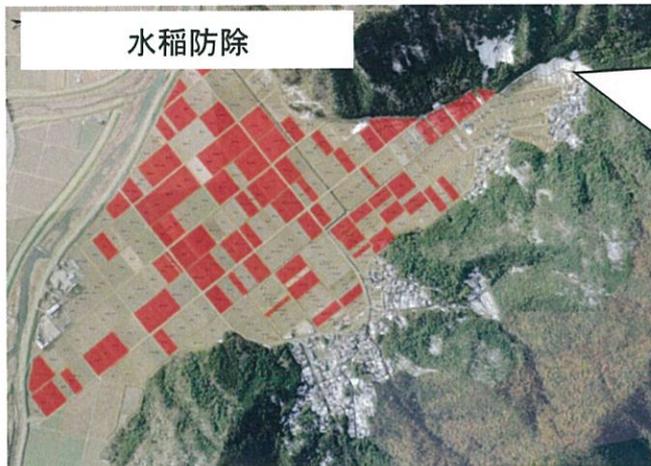
筆番	区画	面積	用途	作物	状態	注
0001	001	301 6-24 14770	1,650	1,650	休耕(単結休耕)	
0002	001	301 16-22 1377	1,760	1,760	休耕(単結休耕)	
0003	001	301 23-19 4797	400	400	休耕(単結休耕)	
0004	001	301 31-42 17781	1,460	1,460	休耕(単結休耕)	
0005	001	301 41-52 617	1,320	1,320	休耕(単結休耕)	
0006	001	301 55-8 2771	2,840	2,840	休耕(単結休耕)	
0007	001	177 26-15	1,210	1,210	休耕(単結休耕)	
0008	001	177 29-6 737	2,750	2,750	休耕(単結休耕)	
				0		

結合

水田筆選択(総目録形式)のデータを、航空写真と結合して地図化された様子。右側の地図には、水田筆の境界線と用途が色で表示されている。右側のリストには、水田筆の属性情報が表示されている。

期待される効果

- ・地図作成にかかる労力、時間が大幅に低減される。
- ・地図情報の共有により、整備の重複投資を回避。

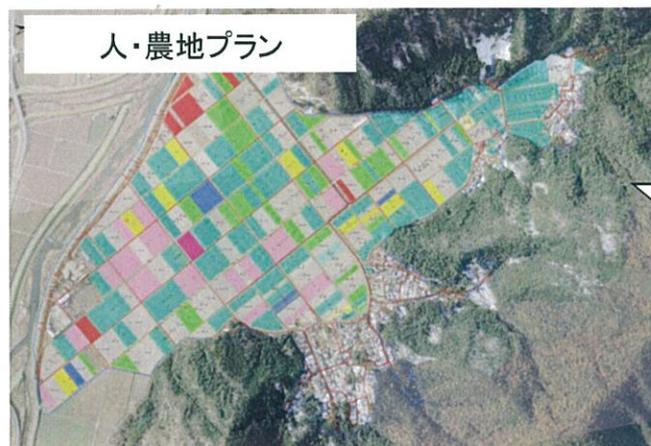


申し込みの受付処理(市)は筆の選択のみとし、他の入力項目(氏名、所在、面積、品種等)を省くことで、処理の迅速化と入力ミスを防ぐことが可能。
防除の実施(JA)においては、全体の把握を画面上で確認。ブロック割、農薬量のシミュレーションが容易となり、作業の効率化が図られる。

他の機関が行う現地確認等において、既に確認されている農地を調査対象から除外することにより、効率的な調査が可能となる。



地図上で所在と耕作者の把握が容易に行えることから、規模拡大等の検討をスムーズに行うことが可能。
また、データの蓄積を行うことにより、集積状況の把握も可能。



今後の活用予定

JAが保有する情報(食味値等)との関連付けを行い、営農管理に活用。

■お問い合わせ先

福井県土地改良事業団体連合会 事業部土地改良課

0776-23-7775(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)

03-6744-2212(直通)